

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年7月27日（月）

2 確認箇所

4号機タービン建屋2階（オペレーティングフロア）

3 確認項目

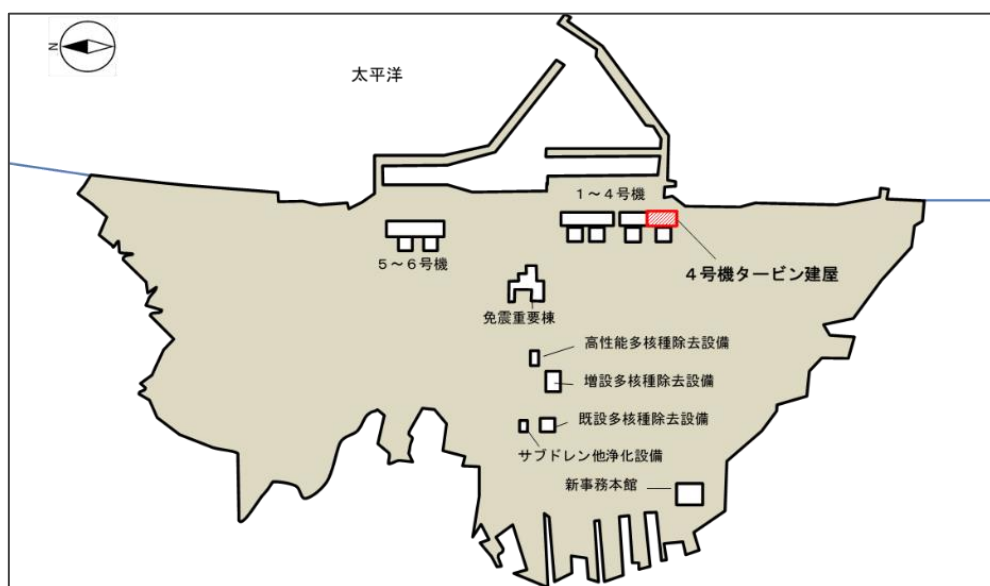
淡水化装置信頼性向上に係る対策の状況

4 確認結果の概要

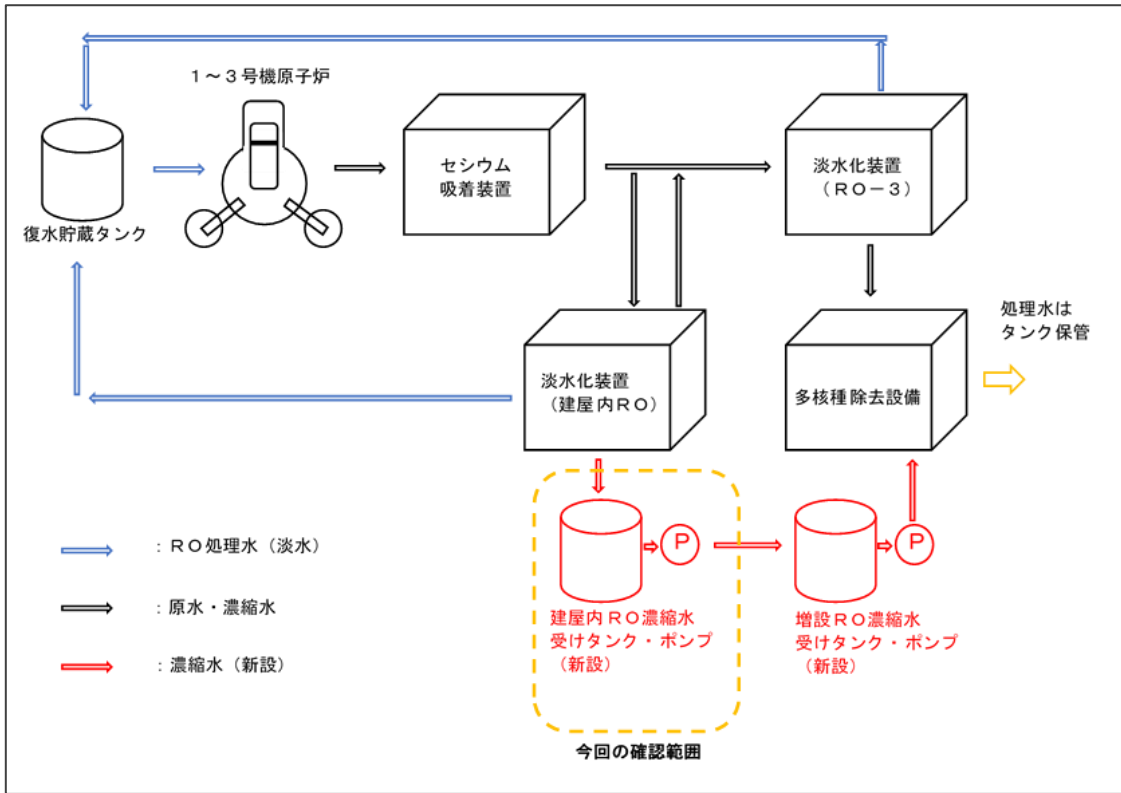
1～4号機建屋等の地下階には東北地方太平洋沖地震による津波、炉心冷却水の流入、地下水の浸透等により、塩分を含んだ高レベルの汚染水（以下、「滞留水」という。）が滞留しており、淡水化装置（以下、「RO」という。）により滞留水中の塩分を除去し、一部は原子炉への注水に再利用されている。

ROの1つである4号機タービン建屋2階に設置されている建屋内ROの運転によって発生する濃縮水について、現在はRO-3を経由して移送しているが、同設備を経由せずに移送するための建屋内RO濃縮水受タンク・ポンプの設置工事が実施されていることから状況を確認した。（図1、2）

- ・建屋内RO濃縮水受タンク・ポンプの設置作業は4号機タービン建屋2階で行われており、タンクとポンプの据え付け作業は終了していた。なお、当該設備は堰内に設置されていた。（写真1）
- ・現場確認時、配管の設置作業や配管の耐圧試験の準備等が行われていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) RO処理系統概略図



(写真1-1)
南側から撮影



(写真1-2)
北西側から撮影



(写真1-3)
建屋内RO濃縮水受ポンプ
(写真1-2の赤線部拡大)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。